

2026 年 1 月 28 日
安田倉庫株式会社
みずほリース株式会社
エムエル・パワー株式会社
株式会社 JERA Cross

安田倉庫最大拠点・守屋町営業所が実質再エネ 100%化へ ～みずほリース、エムエル・パワー、JERA Cross とオフサイト PPA 締結～

安田倉庫株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：小川一成、以下「安田倉庫」）、みずほリース株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：中村昭、以下「みずほリース」）の 100%子会社であるエムエル・パワー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：櫻井成昭、以下「エムエル・パワー」）、株式会社 JERA Cross（本社：東京都中央区、代表取締役：一倉健悟、以下「JERA Cross」）は、安田倉庫の低炭素・循環型社会への貢献に向けた施策の一環として、オフサイトコーポレート PPA*1*2（以下、「本 PPA」）を締結しましたので、お知らせいたします。

本 PPA は、エムエル・パワーが新規で運営する低圧太陽光発電所で発電した電力を、JERA Cross を小売電気事業者として、2026 年度中を目途に順次、安田倉庫守屋町営業所に供給するものです。本取り組みによる電力供給は年間約 2,250,000kWh を想定しており、年間約 951 t-CO₂*3 の CO₂ 排出量削減が見込まれます。また、オフサイトコーポレート PPA による太陽光発電だけでは不足する電力についても、非化石証書を活用することで、守屋町営業所の実質再生可能エネルギー 100%を実現します。これにより、全体で年間約 4,037 t-CO₂*3 の CO₂ 排出量削減が見込まれます。

各社は本 PPA を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

安田倉庫グループは、「低炭素・循環型社会への貢献」を経営の最重要課題（マテリアリティ）の一つに据え、その実現に向けて 2030 年度末までに

- (1) グループの CO₂ 排出量を 2022 年度比で 30%削減すること
- (2) グループの再生可能エネルギー発電量を年間 5,000,000kWh とすること

を目標としております。この目標を達成するための具体的な施策の一環として、この度、本オフサイト PPA の導入に至りました。

みずほリースとエムエル・パワーは、お客さまの再生可能エネルギーに関するニーズに応えるとともに、循環型経済や脱炭素等の社会的な課題の解決に繋がるソリューションを包括的に提供

していきます。また、みずほリースは「サステナブルな社会のクリエイター」をビジョンとして掲げ、「脱炭素社会実現への貢献」をマテリアリティとして特定しています。このマテリアリティを起点とし、ファイナンスを超えた新たな発想と飽くなき挑戦を通じて、より安心で安全な新しい社会インフラの創出と再生可能エネルギーの更なる普及拡大に貢献することで、持続可能な社会の実現を目指します。

JERA Cross は、お客さまの GX パートナーとして、脱炭素をコストから価値へ転換できるようにロードマップや戦略の策定、再生可能エネルギー等の開発・供給のみならず、24/7 カーボンフリー電力*4 の供給を実現する Hourly matching の先端技術の提供まで一気通貫で支援します。お客さまの課題解決と事業変革、CO₂ 排出削減に向けて JERA Cross がワンストップソリューションパートナーとして共に進めてまいります。

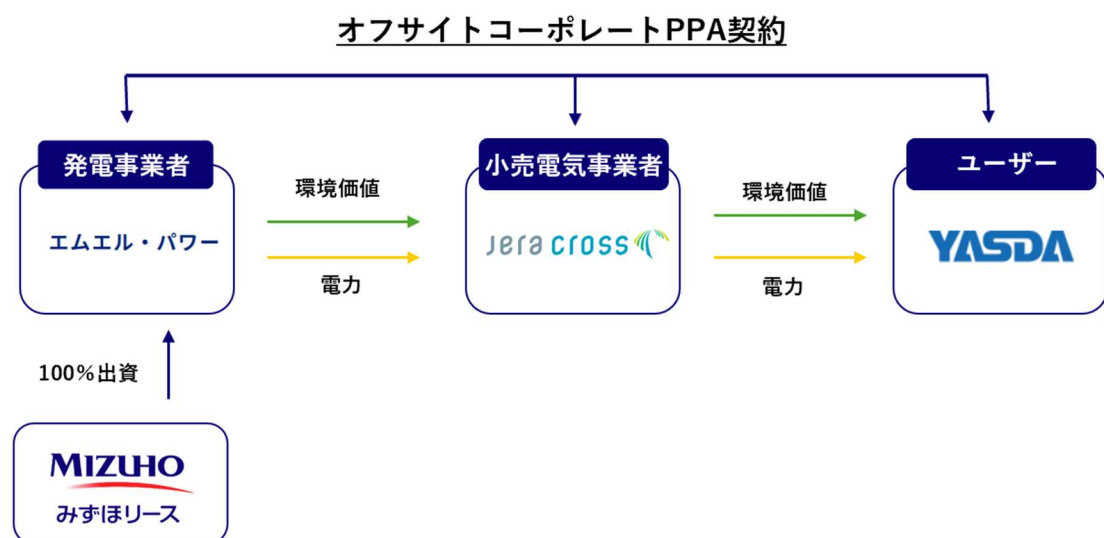
*1 PPA とは、Power Purchase Agreement 電力購入契約の略。電力需要家(ユーザー)が、発電事業者の発電した再生可能エネルギー由来の電力を、小売電気事業者を通じて調達する契約形態

*2 オフサイトとは、発電場所以外の需要先に対し、送電網を介して再生可能エネルギーを供給すること

*3 排出係数 0.000423t-CO₂/kWh で算出

*4 24/7 (twenty - four seven) カーボンフリー電力：毎日 24 時間・毎週 7 日間、すなわち年間 365 日にわたって CO₂ を排出しない電力の名称。経済産業省の「電力の小売営業に関する指針」に従い、需要電力量の 100% について、CO₂ ゼロエミッション電源（再生可能エネルギー発電設備および水素発電設備を意味します）を電源構成とし、および非化石証書の使用による環境価値をとともに供給することを意味しており、燃料の製造・輸送等のライフサイクルを含めて CO₂ が排出されないことを意味するものではありません

<本スキーム概要>



<安田倉庫守屋町営業所>



【本件に関するお問い合わせ先】

みずほリース株式会社 経営企画部

TEL：03-5253-6540